

整理番号	HT27124	分野	生物	キーワード:エビ、カニ、甲殻類
------	---------	----	----	-----------------

神奈川大学

エビやカニのミソの正体は？

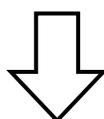
先生(代表者)	大平 剛(おおひら つよし)理学部・准教授			
自己紹介	色々な種類のエビを実験材料に用いて、様々な生理作用を調節するホルモンの研究を行っています。最近、イセエビの脱皮を制御するホルモンの研究も始めました(写真)。イセエビのホルモンを研究しているのは神大理学部だけです。			
開催日時・ 主な募集対象	平成 27 年 8 月 2 日(日)	(対象)	中学生 高校生	(人数) 32名
集合場所・時間	神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 6号館	(集合時間)	10:30	
開催会場 (集合場所)	神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス 住所:〒259-1293 平塚市土屋2946 アクセスマップ: http://www.kanagawa-u.ac.jp/access/shonan_hiratsuka/			
内 容				
<p>エビやカニなどの甲殻類を味噌汁に入れると、いいダシが出て大変おいしいのは皆さんご存知だと思います。そのダシは一般的にミソと呼ばれる部位から出てきますが、そのミソが甲殻類の体内でどのような役割をしている器官かを知っている人は少ないのではないのでしょうか。エビミソやカニミソは人間でいう脳なののでしょうか？それとも全く違うものなのか？本プログラムでは生きたクルマエビを解剖することにより、エビやカニなどのミソの正体を明らかにします。また、甲殻類の体のつくりを観察し、脊椎動物との共通性や相違性についても調べてみましょう。</p>				
				
クルマエビ、 <i>Marsupenaeus japonicus</i>				
スケジュール			持 ち 物	
10:30~11:00 受付			筆記用具、ノート	
11:00~11:15 挨拶、科研費の説明				
11:15~12:00 講義「脊椎動物と無脊椎動物の体制」				
12:00~13:00 昼食			特 記 事 項	
13:00~13:15 実験室に移動、白衣とゴム手袋の配付、実験の説明				
13:15~13:50 クルマエビの外部形態の観察				
13:50~14:10 クッキータイム				
14:10~15:40 クルマエビの解剖、内部形態の観察				
15:40~15:50 アンケート記入				
15:50~16:00 修了式、未来博士号授与				
16:00 終了・解散				
実験をやりますので、ハイヒールなどの踵の高い靴とサンダルはやめてください。髪が長い場合は結んでください。実験中は事故防止のため、白衣を着て頂きます。				

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	神奈川県 平塚研究支援課 ・ 高木 敦子(たかぎ あつこ)
住所：	〒259-1293 平塚市土屋2946
TEL 番号：	0463-59-4111
FAX 番号：	0463-58-9688
E-mail：	takaga01@kanagawa-u.ac.jp
申込締切日：	平成27年7月23日(木)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
大平 剛	H21-22	若手 (B)	21780186	甲殻類の性分化を制御するヘテロ 2 本鎖糖ペプチド (造雄腺ホルモン) の作製と機能解析
大平 剛	H23-24	若手 (B)	23780204	エビ類のサイナス腺に存在する成熟促進ホルモンの単離
大平 剛	H26-28	基盤 (C)	26450294	クルマエビの生殖腺刺激ホルモン放出ホルモン (GnRH) の同定と機能解析



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。